

大名合同庁舎解体工事について

補足資料

工事のイメージ

1 概要

本工事は、中央消防署大名出張所、中央消防団大名分団車庫、大名公民館及び大名老人いこいの家からなる大名合同庁舎の解体工事である。

本工事において、地盤掘削時に地盤が想定よりも弱いことが判明したため、新たに山留工事（地盤掘削時に周囲の土が崩れないよう、地面に鋼板を打ち込む工事）が必要となった。更には、建築物解体後に行う杭抜き工事において、本工事の設計よりも杭長が長く杭径も大きいことが判明し、資材や重機の追加が必要となったことから、契約変更による消防局負担分の増額補正を行う。

また、山留工事の追加や杭長及び杭径の変更に伴い、施工に期間を要することから、年度内の工事完了が困難であり、所要額を翌年度に繰り越すものである。

2 補正額等の内訳

(1) 補正額

当初予算額 (①)	74,035 千円 (消防局負担額)
変更契約額 (②)	113,576 千円 (消防局負担額)
補正額 (②-①)	39,541 千円

(2) 繰越額

変更契約額 (②)	113,576 千円 (消防局負担額)
支出済額(※) (③)	25,670 千円 (消防局負担額)
繰越額 (②-③)	87,906 千円

(※) 前払金による (1月末時点)

【参考】各局の負担割合は床面積に応じ、以下のとおり定めている。

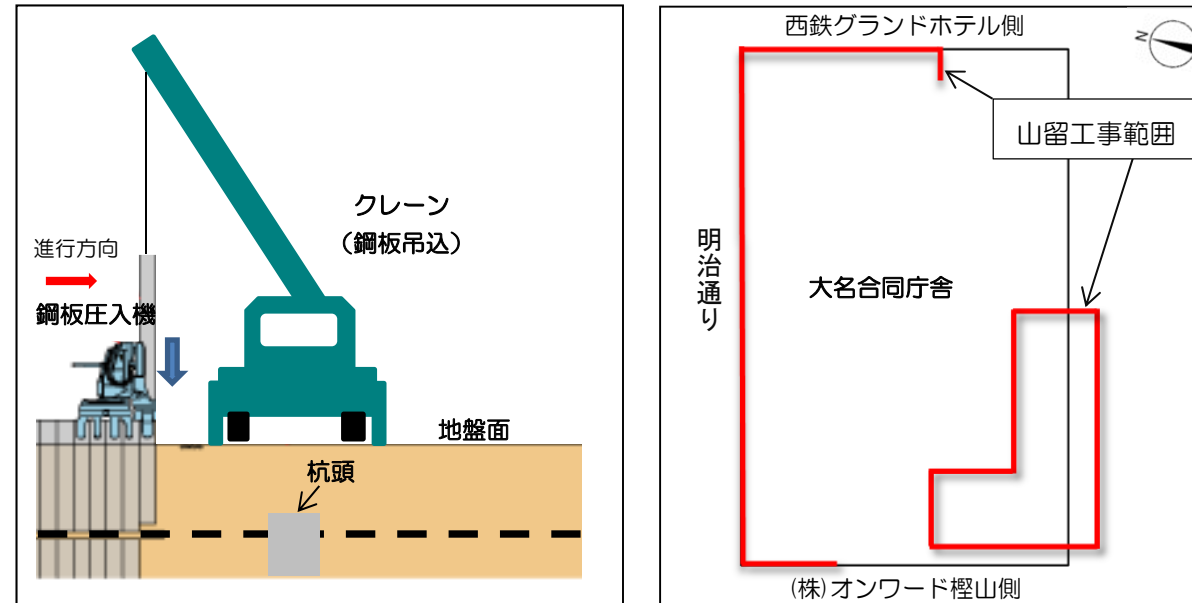
	変更契約額における負担額	負担割合
消防局	113,576 千円	52%
市民局	91,734 千円	42%
保健福祉局	13,105 千円	6%

3 履行期間の変更

変更前	2018年8月11日から2019年3月12日まで
変更後(予定)	2018年8月11日から2019年5月20日まで

【山留工事】

地盤掘削工事において、歩道陥没やクレーン倒壊防止のために鋼板（8m）を設置するもの。



【杭抜き工事】

- ① ケーシングにより杭と土を切り離す。
- ② 杭長に合わせ、ケーシングを追加する。
- ③ ケーシングを取り外し、別のクレーンで杭を引き上げる。

